



## 復興から日本再生へ ～埼玉の挑戦～

埼玉県知事 上田 清司



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに平成24年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

去年は東日本大震災という過酷な出来事がありました。新しい年は、一刻も早い被災者の皆様の生活再建と被災地の復興を果たし、そしてその先に新しい日本を築いていく、そんな1年にしたいと思います。

この未曾有の災害の中で、震災後に示された被災者や国民の支え合いの精神は世界が称賛するほど素晴らしいものでした。

埼玉県は地域住民による防犯活動や、元気な高齢者が支援を必要とする高齢者を助ける「地域支え合いの仕組み」など共助社会づくりを進めています。こうした自立自尊の精神の広がりには日本再生に向けた大きな力になると信じます。

また、原子力発電所の事故によって電力エネルギーの3割を原子力に依存しているという実態が浮き彫りになりました。

今こそ再生可能エネルギーの活用や未来型省エネ技術の開発と、それらを生かしたまちづくりに取り組む必要があります。そして、世界の課題に高い技術力で解決策を提供する国家として日本を再生していくべきです。

市町村単位で取り組む本県のエコタウンプロジェクトにより、その役割の一端を担う決意です。

私は、日本は世界で最も素晴らしく、そして美しい国だと思います。次世代にこの良き日本を引き継ぐには、新しい産業を育てていくこと、誰もが働きやすい社会をつくること、そしてアクティブな健康長寿社会を築くこと、この3点が鍵になると思います。

● まず新しい産業を育てることが必要です。● グローバル化が進む中で、我が国の産業構造● は変革を迫られています。県内企業が持つ高● い技術力をグローバルな舞台で生かすイノベ● ーションの支援を徹底的に進めていきます。

● また、イノベーションの鍵は人材です。県● では10億円の基金を設けグローバル人材の育● 成に取り組んでいます。この取組を更に充実● し、人材育成の面からもイノベーションを支● えていきます。

● 誰もが働きやすい社会のお手本が北欧諸国● です。人口規模が埼玉県より小さいのに、1● 人当たりGDPでは世界上位を占めています。● 女性の社会進出が進んでおり、女性の高い就● 業率が家計所得と消費を押し上げ、経済を元● 気にしています。勤勉さをはじめとした日本● の良さに北欧型の女性の社会進出を加え、県● と経済界、労働界が一体となって、誰もが働● きやすい埼玉づくりを進めていきます。

● 健康長寿社会という点では、国民医療費の● 約3分の1は生活習慣病によるものだとわか● れています。その対策を徹底することができ● れば国民負担を大きく減らすことができます。● 国全体で徹底することは困難ですが、意欲あ● る市町村が本気になって取り組めば大きな成● 果が期待できます。医療費を減らすだけでな● く、高齢者が社会にアクティブに参加してい● く健康長寿社会の枠組みを市町村と一緒につ● くっていきます。

● これらの取組はまさに大きな挑戦です。素● 晴らしい企業と人材が集まる埼玉ならそれが● できる。私はそう信じています。

● 県民の皆様、地方からこの国を変える埼玉● の挑戦にぜひ一緒に取り組みましょう。